

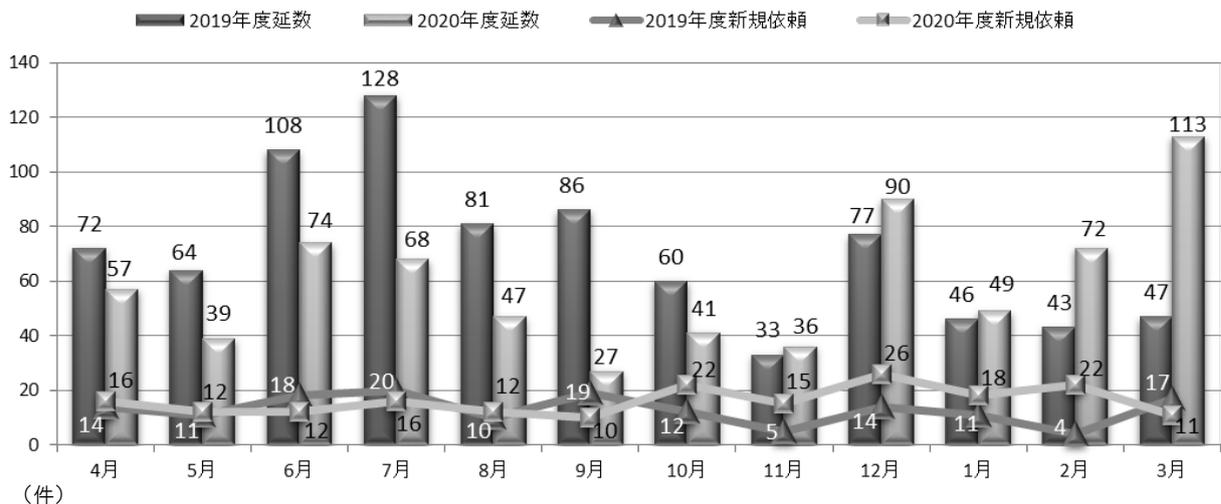
## VI 精神科リエゾンチーム



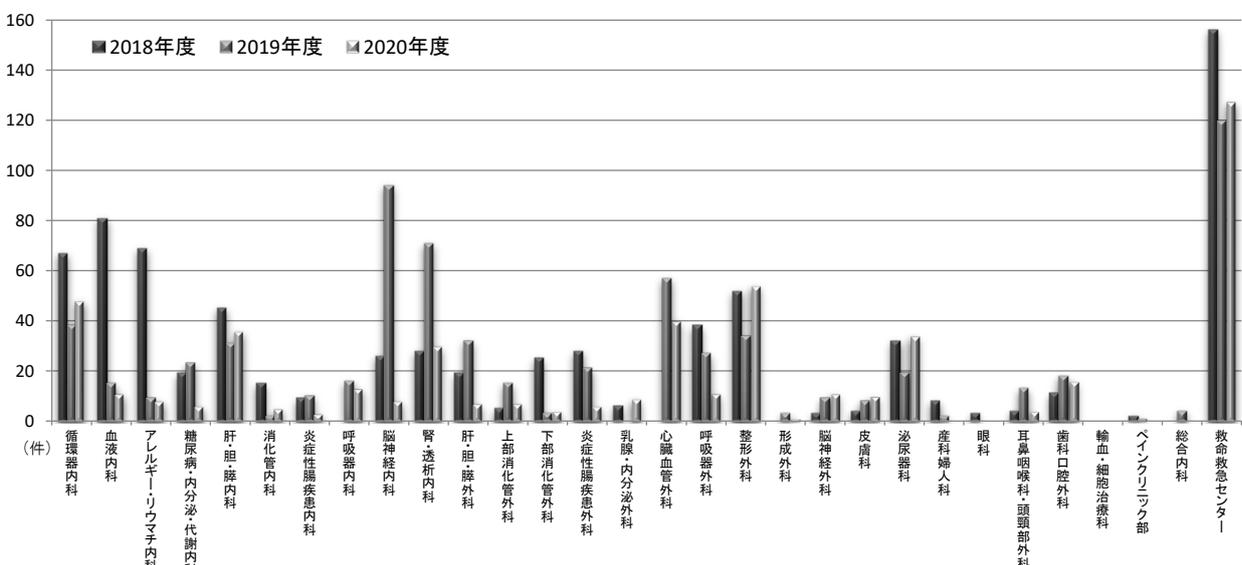
救急病棟や内科病棟に入院する患者さんの中で、精神的な問題を生じる人が少なくないのは周知の事実となってきた。精神科リエゾン医学はそういった、一般病棟での精神的な問題に対応するために発展してきた身体とところをつなぐ医学である。精神科リエゾンチームは、この精神科リエゾン医学の考え方を基に、多職種が連携し、身体とところのつながりに焦点をあてた医療や支援のため、2012年10月から活動を始めた。2020年度の実施延件数、新規依頼件数および診療科別の推移は下記の通りである。

本年度における件数は、昨年度に比べ、新規依頼件数は増加している。新型コロナウイルス感染症流行に伴いカンファレンスを自粛せざるを得ない期間があったため、延べ介入件数はわずかに減少しているが、新規介入件数の増加が示すように、リエゾンチームへのニーズはなお高い。介入した科、疾患は多岐にわたっており、さまざまな身体疾患において、精神的なフォローの重要性がうかがえる。その中でも救命救急センターからの依頼件数は新規、延人数とも最大である。これには、救命救急センターにおける継続的な精神科リエゾンチームのかかわりが必要、かつ重度の症例が多いことに加え今年度は特に新型コロナウイルス感染症患者におけるせん妄のケアに多くかかわったためである。ニーズが高まっているが、マンパワーが少ないというのが精神科リエゾンチームにおける現状である。今後は各科からの期待に応えるためにも、まずはマンパワーの確保が必要と考えている。

VI-1 年度別月別精神科リエゾンチーム実施延件数（2019年度合計845件、2020年度合計713件）と新規依頼件数



VI-2 精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数の年度別推移（2018年度合計895件、2019年度合計845件、2020年度合計713件）



VI-3 年度別精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数

(件)

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2020年度 構成比率 (%)
循環器内科	64	3	67	38	48	6.7
血液内科	101	71	81	15	11	1.5
アレルギー・リウマチ内科	140	29	69	9	8	1.1
糖尿病・内分泌・代謝内科		1	19	23	6	0.8
肝・胆・膵内科	75	20	45	31	36	5.0
消化管内科	39		15	2	5	0.7
炎症性腸疾患内科	12	10	9	10	3	0.4
呼吸器内科	28	13		16	13	1.8
脳神経内科	22	9	26	94	8	1.1
腎・透析内科	14	2	28	71	30	4.2
小児科						
肝・胆・膵外科	1	2	19	32	7	1.0
小児外科						
上部消化管外科	90	35	5	15	7	1.0
下部消化管外科	23	36	25	3	4	0.6
炎症性腸疾患外科	37	4	28	21	6	0.8
乳腺・内分泌外科	5	1	6		9	1.3
心臓血管外科	38	2		57	40	5.6
呼吸器外科	31	6	38	27	11	1.5
整形外科	123	13	52	34	54	7.6
形成外科	12			3	1	0.1
脳神経外科	34	24	3	9	11	1.5
皮膚科	5		4	8	10	1.4
泌尿器科	27	21	32	19	34	4.8
産科婦人科	29	9	8	2		
眼科	1	1	3			
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	31	2	4	13	4	0.6
歯科口腔外科	34		11	18	16	2.2
輸血・細胞治療科	21	12	-	-	-	-
ペインクリニック部	1		2	1		
総合内科				4		
救命救急センター	108	101	156	120	127	17.8
小計	1,146	427	755	695	509	71.4
精神科神経科	191	103	140	150	204	28.6
合計	1,337	530	895	845	713	100.0